

逗子市総合計画 基本計画 2014 達成状況及び評価

逗子市総合計画基本計画 2014 の評価基準

■目標達成状況

区分	説明
○	◆ 達成した。目標値をクリアした。 ◆ 概ね達成し、一定の成果を得られた。目標値には届かなかったが、期待した成果は得られたと考えられる。
×	◆ 実施はしたが、達成レベルが低く、得られた成果が小さい。 ◆ 実施できなかった。
その他	達成度合い（成果）を測定できないもの

■評価

区分	定義	説明
A	使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。	設定した目標を全て達成したもの
B	使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。	設定した目標値に届かなかったが一定の成果を得られたと考えるもの
C	進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。	設定した目標は実現できず成果がない取組みがある状況だが、達成に向けて現在取り組んでおり、近い将来に目標を達成できる計画となっているもの
D	使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。	取組みは行ったが、目標値に大きく届かず期待した結果が得られていないもの。取組みがなかったもの。

第 1 節総合福祉 1 福祉社会 (1) 福祉サービス

使命

援助を必要とする市民に対して、サービスを受ける側の意思を尊重しつつ、適正なサービスを公平に提供します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
高齢者人口が増加する中、介護予防施策等の充実により要介護等の状態になっていない元気な高齢者が 1,500 人増加する。(現状値：平成 18 年度末現在 13,076 人)	○	元気な高齢者数は、14,643 人となった。
療育に係る施設が整備され、必要な相談体制が充実している。	×	(仮称)療育・教育の総合センターの整備については、当初設置を予定していた民間ビルの建替えに係る着工の目途がたたないことから、設置場所を変更せざるを得ない状況になったため、新たな設置候補先の検討及び関係者等への説明等により整備が遅れたもの。平成 28 年 10 月に開始予定。
ファミリーサポートセンターの支援会員が 200 人以上になっている。(現状値：平成 18 年度末現在 166 人)	○	支援会員数は、281 名となった。
全小学校区において児童館型のふれあいスクールが開設している。	○	平成 20 年度に、全小学校区に児童館型のふれあいスクールを設置、開設した。
放課後児童クラブが全小学校区に設置されている。	○	平成 23 年度に、全小学校区に放課後児童クラブの設置が完了した。

その他の達成状況等

- 窓口には保育所等利用支援員を配置し、利用希望者の状況に応じた情報を提供した。
- 保育所等の利用調整は調整基準要綱を定め、公平に調整した。
- 運動教室開催等により、要支援、要介護状態になる恐れがある高齢者や一般の高齢者に対し、要介護状態とならないよう支援し、介護予防の意識啓発を行った。
- 配食サービスが必要な方に対し、アセスメントにより年間 6,466 食を適切に配食した。
- 公衆浴場入浴助成により、公衆浴場を交流の場として提供し、年間 27,831 人が利用した。
- 計画相談支援を導入したことにより、より本人に合った支援を提供できるようになった。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第 1 節総合福祉 1 福祉社会 (2) 福祉施設の充実

使命

健康と生きがいを享受できるよう、高齢者、障がい者、児童をはじめ、あらゆる人の利用ニーズに的確に応えられるよう行政と民間が一体となって福祉施設の整備・充実に努めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設が計画的に整備されている。	○	特別養護老人ホームについては、平成 26 年 5 月に、特養 100 床、ショートステイ 20 床の施設が開設した。介護老人保健施設については、開設には至っていないが、現・高齢者保健福祉計画においては、必要性を見直した結果、当該施設の整備については計上していない。
児童館機能を有する施設が開設している。	○	平成 26 年 4 月に第一運動公園内に、児童館機能を有する施設として体験学習施設スマイルを開設した。

その他の達成状況等

- 市有地を無償貸与し、平成 26、27 年の 2 ヶ年で社会福祉法人が認可保育所を整備中。平成 28 年 4 月開所予定。定員 110 名。
- 高齢者のニーズに対し、既存施設の整備状況を十分踏まえた上で、入所・入居施設を整備した。
- 介護老人福祉施設 100 床、認知症対応型共同生活介護 9 床、特定施設入居者生活介護 97 床を整備した。
- 障害者サービス事業所（生活介護）「もやい」「えいむ」への運営費補助を行った。
- 市内外グループホーム入居者 36 人へ家賃補助を行った。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちよくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第 1 節総合福祉 1 福祉社会 (3) 福祉のまちづくり

使命

社会参加への障壁の除去と参加機会の提供に努め、ユニバーサルデザインをはじめとする心ふれ合うやさしいまちをめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市内 4 路線の無電柱化工事が完了している。（現状値：平成 18 年度末現在 1 路線）	×	2 路線が完了した。 市内 4 路線（逗子 33 号、逗子 55 号、なぎさ通り、小坪 154 号）のうち、逗子 33 号と逗子 55 号は完了している。なぎさ通りの無電柱化については、横須賀市と協議をしたが、調整がつかなかった。
市内すべての鉄道駅がバリアフリー化されている。	○	平成 22 年度に全駅でバリアフリー化が完了した。

その他の達成状況等

- 市の公共施設を新築等する際、市民や高齢者、障がい者等の代表より意見を聴取し施設のバリアフリー化を進める逗子市公共施設整備バリアフリー懇話会を開催した。
- 市民の障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を図るため、年 1 回市民ホールにて心身障がい児者の作品を展示する、ふれあい作品展を開催した。平成 26 年度の参加者は 105 人。
- 平成 26 年度より、障がい者の生きがいや生活の質を高められるようイベント等の開催を行い、交流を通じて孤独感の解消、理解の促進をはかることを目的とした障がい者の住みよいまちづくり推進事業を開始した。
- 平成 25 年度にまちかどベンチの設置が完了した。
- 建替えの終了した沼間南台住宅、池子住宅については、ユニバーサルデザインを取り入れた。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第 1 節総合福祉 2 保健医療 (1) 健康づくり

使命

体力づくりや生活改善を促し、現在だけでなく将来につながる健康づくり、介護予防を進めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
国民健康保険対象者の特定健診受診率が 65 パーセント以上になっている。	×	31.2 パーセントとなっている。 （一社）逗葉医師会・（公財）逗葉地域医療センターなど関係機関の協力による啓発活動の強化及び土日開催や市役所での健診の実施など受診率の向上に努めたものの、目標の達成には至らなかった。
国民健康保険特定保健指導対象者への指導率が 45 パーセント以上になっている。	×	22.6 パーセントとなっている。 （一社）逗葉医師会・（公財）逗葉地域医療センターなど関係機関の協力による啓発活動の強化及び土日開催や市役所での健診の実施など受診率の向上に努めたものの、目標の達成には至らなかった。
まちづくりに関する市民意識調査におけるスポーツをしている人の割合が 50 パーセント以上になっている。（現状値：平成 17 年度 33.3 パーセント）	その他	「まちづくりに関する市民意識調査」からの項目削除により測定不能。

その他の達成状況等

- 全てのライフステージにおいて、市民一人ひとりがそれぞれの価値観に基づいて健康づくりを行い、また互いにサポートし合い、より健やかで心豊かに生活できることを目的とし、健康増進計画を策定した。
- 効果的な検診の充実を図るため、子宮頸がん・乳がん・大腸がん・肝炎ウイルスの各検診において、対象者に無料受診券を送付した。
- 65 歳以上の男性を対象とした男性の健康料理教室を開催し、延べ 249 人が参加した。
- 食生活改善推進員（ヘルスメイト）養成講座を開催し、延べ 211 人が参加した。
- ロコモティブシンドロームの予防のため、集団健診時の健康教育のテーマとして取り上げたほか、出前講座等でもテーマとし、普及啓発を行った。
- 第 2 次食育推進計画策定のため、2,300 人を対象に「食育推進計画アンケート調査」を実施した。（有効回答率 65.1 パーセント）

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第 1 節総合福祉 2 保健医療 (2) 日常医療体制

使命

市民のだれもが、身近なところで適切な医療を受けられるようにします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市内に総合的病院が開設されている。	×	平成 21 年 7 月に進出を予定していた聖テレジア会が病院開設計画を断念した。以後、進出を希望する病院は無く、また、県に対し当二次医療圏での基準病床数の増加を要望しているが、圏外からの誘致は極めて困難な状況が続いている。

その他の達成状況等

- 在宅医療の情報を追加するなど、リニューアルした逗葉地域医療マップを作成し、全戸配付した。
- 逗葉地域医療センターにおいて、一次救急を実施した。
- 逗子葉山地区医療保健福祉対策協議会小委員会において、在宅医療連携拠点案を作成し、同協議会に報告し、了承された。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第 1 節総合福祉 2 保健医療 (3) 救急医療体制

使命

適切な救急医療体制の一層の充実を図り、救命率の向上を図ります。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市内に救急医療体制が整備された総合的病院が開設されている。	×	平成 21 年 7 月に進出を予定していた聖テレジア会が病院開設計画を断念した。以後、進出を希望する病院は無く、また、県に対し当二次医療圏での基準病床数の増加を要望しているが、圏外からの誘致は極めて困難な状況が続いている。
普通救命講習受講者数が累計 3,500 人以上になる。（現状値：平成 8 年度～平成 18 年度 累計 1,851 人）	○	平成 26 年度末に 3,624 人となり、目標は達成できた。

その他の達成状況等

- 三浦半島 3 市 1 町が共同で広域病院群輪番制事業を実施し、高度で専門的な救急医療を必要とする者に、二次救急医療を提供した。
- 高度救急救命医療が必要な際のドクターヘリコプターに関する経費を負担した。
- 公共施設への A E D の設置が 41 箇所となった。
- 市の広報、ホームページ等を通じて普通救命講習の普及啓発を行い、市民団体や市民グループ、事業所等の参加により、平成 26 年度末までに普通救命講習が 438 回実施され、受講者数は、3,624 人となった。また、平成 18 年度から A E D を含めた普通救命講習を実施し、救急車の現場到着までのバイスタンダーによる応急手当の充実が図れた。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちよくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第 1 節総合福祉 2 保健医療 (4) 医療保険

使命

適切な保健指導や医療により健康の保持増進と健康寿命の延伸を図り、医療保険制度の健全運営に努めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
国民健康保険対象者の特定健診受診率が 65 パーセント以上になっている。	×	31.2 パーセントとなっている。 （一社）逗葉医師会・（公財）逗葉地域医療センターなど関係機関の協力による啓発活動の強化及び土日開催や市役所での健診の実施など受診率の向上に努めたものの、目標の達成には至らなかった。
国民健康保険特定保健指導対象者への指導率が 45 パーセント以上になっている。	×	22.6 パーセントとなっている。 （一社）逗葉医師会・（公財）逗葉地域医療センターなど関係機関の協力による啓発活動の強化及び土日開催や市役所での健診の実施など受診率の向上に努めたものの、目標の達成には至らなかった。

その他の達成状況等

- 医療費の急激な増加に対応するため、国民健康保険料の改定を実施するとともに、保険料の収納率向上を図り、県下トップクラスの収納率を維持した。
- 高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種に加え、新たに肺炎球菌予防接種を開始した。
- 全てのライフステージにおいて、市民一人ひとりがそれぞれの価値観に基づいて健康づくりを行い、また互いにサポートし合い、より健やかで心豊かに生活できることを目的とし、健康増進計画を策定した。
- 市制 60 周年記念事業として、禁煙対策の講演会を 3 回実施した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第2節生涯学習 1 学習 (1) 幼児教育

使命

社会性を養い、健やかで心豊かな子どもを育むよう、幼児の教育の充実・振興を図ります。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
幼児が集える場所が増えている。	○	全小学校区で、ほっとスペースを開設し、乳幼児が安心して遊べる場を提供している。

その他の達成状況等

- 保育所・幼稚園等関係施設に対して、市単独運営費の助成を行った。同施設の保育料について、市単独で負担軽減を図った。
- 逗子市次世代育成支援行動計画に基づき、子育て支援センターを中心に小坪・沼間に親子遊びの場を設置した。各小学校区にほっとスペースが設置され、親子で遊べる場が増えた。
- 心身障がい児通園事業及び療育相談室運営事業を実施し、個々のアセスメントによる充実を図った。平成 26 年度の通園事業の実績は、在籍児童数 21 人（児童によって週 1 回～2 回程度）、延べ参加回数は 954 回。平成 26 年度の療育相談室の実績は、延べ相談件数 4333 件、平成 26 年 3 月の相談実人数は 248 人。
- (仮称)療育・教育の総合センターの基本構想・整備計画を作成した。基本構想・整備計画の策定に当たっては、療育推進事業検討会の開催やパブリックコメントを実施した。平成 26 年度は療育推進事業検討会を 3 回開催した。パブリックコメントについては、平成 26 年 6 月 2 日（月）から平成 26 年 7 月 1 日（水）まで実施し、総意見数は 51 件であった。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第2節生涯学習 1 学習 (2) 学校教育

使命

きめ細かな指導を実現し、安全・快適で楽しい学校生活を営むため、教育内容及び教育環境の充実を図るとともに、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域が協力して子どもたちを育てます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
神奈川県学習状況調査の平均通過率が県平均より 5 ポイント上回っている。(現状値：平成 18 年度 小学校 逗子 77.6 パーセント 県 73.8 パーセント、中学校 逗子 62.2 パーセント 県 62.9 パーセント)	×	小学校は 0.5 ポイント、中学校は 0.3 ポイント目標に届かなかった。
長期的な学校施設改修計画等が策定され、推進されている。	○	施設の長寿命化を主眼に、風雨等の影響から建物の躯体を守る外壁部分の改修を中心に、複数年に亘る工事を改修計画に基づき進めている。
市立の中学校で完全給食が実施されている。	○	平成 26 年 10 月 14 日より完全給食を開始した。
小学校給食室のドライ運用が 100 パーセントになっている。	○	100 パーセントドライ運用を実施している。
市内小中学校不登校児童生徒の出現率が市全体で 1 パーセント以下になっている。(現状値：平成 18 年度 1.25 パーセント)	×	不登校児童生徒数 計 57 人 在籍児童生徒数 計 3854 人 出現率 1.48 パーセント
教育活動に地域講師を派遣している。(全 450 回、一クラス約 4 回平均)(現状値：平成 18 年度 全 435 回)	×	ゲストティーチャーとして計 304 回の派遣となっている。
幼稚園・保育園と小学校の連携が進み、それぞれにおいて毎年授業公開を実施している。	○	平成 23 年度まで授業公開していたが、現在は次の段階として幼稚園、保育園、小学校の先生がグループ協議したり一緒に研修を受けたりしている。

その他の達成状況等

- 放課後児童クラブにおいて、学校等との連携を行い、児童の健全育成を図った。
- ふれあいスクールにおいて、放課後等の児童の居場所・遊び場を確保し、児童の身心の健全育成を図った。
- 授業研究を推進し自ら学び考える子どもの育成し、引き続き継続していく。

- 個々の子どもの教育的ニーズに対応できるよう校内支援体制を構築し、きめ細かな指導を行った。
- 学校支援地域本部事業を推進し、学校支援ボランティアなど地域教育力を活用した教育活動を行った。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第2節生涯学習 1 学習 (3) 生涯学習

使命

だれもがいつでも自由に、学習機会を選択して学ぶことができ、その成果を様々な形で活かすことができるまちをめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
まちづくりに関する市民意識調査における生涯学習に対する満足度が 30 パーセント以上になっている。（現状値：平成 17 年度 20 パーセント）	その他	「まちづくりに関する市民意識調査」からの項目削除により測定不能。
全小学校区において児童館型のふれあいスクールが開設している。	○	平成 20 年度に全小学校区に児童館型のふれあいスクールを設置し、居場所・学び・遊べる場として運営している。
ふれあい活動センターが一部設置され、運用されている。	○	平成 26 年 4 月に小坪大谷戸会館及び久木会館が開館し、モデルケースとしてふれあい活動が行われている。

その他の達成状況等

- ずし楽習塾講座を開催し、ずし生涯学習ガイドブックを発行するなど、学習機会の提供を行っている。
- 体験学習施設スマイルが完成し、子供達が自由な時間に、いつでも学び、遊べることで、子供達の学習機会ができた。その他、生涯活動の場としても利用されている。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第2節生涯学習 2文化 (1) 地域文化

使命

地域に根ざした文化の創造や、市民の文化教養活動を支援します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
まちづくりに関する市民意識調査における地域文化に対する満足度が 50 パーセント以上になっている。（現状値：平成 17 年度 30 パーセント）	その他	「まちづくりに関する市民意識調査」からの項目削除により測定不能。
文化プラザホールの高い利用率が、維持されている。（現状値：平成 18 年度 なぎさホール 71 パーセント、さざなみホール 82 パーセント）	○	文化プラザホールの高い利用率を維持した。 なぎさホール日数利用率：62 パーセント さざなみホール日数利用率：86 パーセント
児童生徒への図書館資料の 1 人あたりの貸出数が 1.2 倍増加している。（現状値：平成 18 年度児童生徒 1 人あたりの年間貸出数 16.6 冊）	×	児童生徒 1 人当たりの年間貸出数は 14.5 冊となった。 学校での読書指導、学校図書館・学級文庫の充実や教育課程の変更による授業時間の増加、家庭での教育観の変化など様々な要因により図書資料の貸出数が増加しなかった。また、平成 25 年度からは「逗子市子どもの読書活動推進計画」に基づき、読書活動の推進を図っているが、目標達成には至らなかった。
ふれあい活動センターが一部設置され、運用されている。	○	平成 26 年 4 月に小坪大谷戸会館及び久木会館が開館し、モデルケースとしてふれあい活動が行われている。

その他の達成状況等

- 郷土展示やリーフレットの作成などし、市民への情報提供等を行った。郷土展示：4 回 リーフレット：1～8 号（2014 年度末現在）

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第2節生涯学習 2文化 (2)文化財

使命

文化財を適正に保存管理し、後世に引き継ぎ、広く公開活用します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
名越切通まんだら堂やぐら群エリア（第1期分）の公開が実現している。	○	平成 26 年度は年間 60 日の公開を実施し、延べ 6,415 人の来場があった。整備工事は天災等によるアクシデントで若干の変更はあったが、総合計画全体から見れば順調に進んでいる。
『武家の古都・鎌倉』の世界遺産登録が実現している。	×	イコモスの「不記載」勧告を受け、4 県市において再調整のため一度推薦を取り下げ、国内外の同種の文化財と、イコモス勧告の中で評価された「鎌倉」の候補資産との比較研究を進めながら、「鎌倉」の文化財の価値を明確にしていき、新たなコンセプト作りに向け準備を進めている。

その他の達成状況等

- 国指定史跡名越切通、国指定史跡長柄桜山古墳群の整備も順調に進み、公開活用に向けて、確実に前進している。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第2節生涯学習 2文化 (3) スポーツ都市

使命

生涯を通してスポーツ・レクリエーション活動を愛し、親しむことのできるまちをめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
まちづくりに関する市民意識調査におけるスポーツをしている人の割合が 50 パーセント以上になっている。（現状値：平成 17 年度 33.3 パーセント）	その他	「まちづくりに関する市民意識調査」からの項目削除により測定不能。
総合型地域スポーツクラブの会員登録数が 1,000 件になっている。（現状値：平成 18 年度末現在 493 件）	○	総合型地域スポーツクラブ（うみかぜクラブ）の登録数は 801 件だが、事業全体での達成度が大きかった。 ・スポーツの祭典の実施（参加者延 3,300 人） ・各種競技市民大会（21 種 4,532 人）、駅伝大会（地域 16 チーム、団体 27 チーム）等の実施 ・スポーツ推進計画の中間見直しの実施 ・総合型地域スポーツクラブ（うみかぜクラブ）の堅調な拡大
第一運動公園の再整備が完了している。	○	平成 25 年度中に再整備が完了した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第3節環境との共生 1 自然環境 (1) 自然環境の保全

使命

持続可能な社会をめざすとともに、市民と事業者と行政が協働し、市街地を取り囲む樹林地や斜面緑地の保全を図り、また市街地の緑の創造により、まちなみに配慮した景観づくりを進めることで、潤いのある豊かな自然環境と共生するまちをめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市全域の緑被率 60 パーセントが維持されている。	その他	計測が困難なため、達成状況不明。
景観形成重点地区における景観計画が 3 地区（歴史的景観保全地区、逗子駅周辺地区、東逗子駅周辺地区）で策定されている。	○	歴史的景観保全地区は 22 年度に、逗子駅周辺地区は 23 年度に、東逗子駅周辺地区は 23 年度にそれぞれ策定された。
地区まちづくり協議会が 3 箇所で立ち上がっている。（現状値：平成 18 年度末現在 0 箇所）	×	地区まちづくり協議会設立のため支援を行ったが、1 件設立（グリーンヒル地区）、1 件設立準備中（ハイランドの一部の地区）にとどまり、目標を達成できなかった。
名越切通周辺の歴史的風土保存区域内の重要な部分が、歴史的風土特別保存地区に指定されている。	×	県とともに動いている内容であり、現状や課題等を共有した上で、引き続き調整を行っていく。
いのちの森が 1 箇所整備されている。	○	3 箇所で整備された。
緑地のアダプトプログラムが 15 箇所で実施されている。（現状値：平成 18 年度末現在 10 箇所）	○	25 箇所で実施された。

その他の達成状況等

- 3 回（H20・24・26 年度）にわたり、まちづくり条例の改正（斜面地マンションの規制や商業地域にいける空地基準の追加と駐車場基準の見直しなど）を行った。
- 環境評価システムの見直し（市内市街化区域全域の見直しなど）を図った。
- 特別緑地保全地区を 1 地区都市計画決定した。
- 里山活用事業は自然保全活動を年 10 回以上実施した。
- 歴史的風土保存区域の特別保存地区への指定は実現できなかった。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第3節環境との共生 1 自然環境 (2) 公園

使命

みどりに囲まれた、生活に潤いや安らぎを与える公園の整備を推進します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市民 1 人あたり都市公園が 15.78 平方メートル整備されている。（現状値：平成 18 年度末現在 市民 1 人あたり 8.23 平方メートル）	○	市民 1 人あたり都市公園は、15.05 平方メートルとなった。
第一運動公園の再整備が完了している。	○	平成 25 年度中に再整備が完了した。
蘆花記念公園の整備が完了している。	○	平成 20 年度中に整備が完了した。

その他の達成状況等

- 平成 25 年度中に飯島公園の再整備が完了した。
- 公園アダプトは 32 箇所となった。
- 三浦半島国営公園誘致については、同盟会において国への働きかけを実施している。
- 公園施設長寿命化計画を策定した。

評価

- ☒ A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☐ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☐ C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☐ D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第3節 環境との共生 1 自然環境 (3) 水域

使命

海岸・河川について、生活環境や憩いの場としての水辺環境の創出と水質の維持・向上、水環境の保全と自然環境の復元に努めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市民が培養したEM菌の散布による砂質改良が年 6 回行われている。	○	平成 26 年度は 8 回散布した。
親水箇所(休憩所)が 3 箇所増設されている。 (現状値：平成 18 年度末現在 3 箇所)	×	市では 1 箇所実施した（平成 22 年度に藤棚・ベンチを設置）。残りは神奈川県の間になるが、河川改修工事の進捗を見ながら適宜県に要請等を行っている。

その他の達成状況等

- 公害発生時は迅速に対応し、被害を最小限に抑えている

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進捗の遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第3節環境との共生 2 生活環境 (1) 生活環境の整備

使命

公害を防止し、生活環境の美化を図り、日常生活に欠かせないエネルギー等の安定的供給と安全な消費生活、交通安全対策など、快適で安心して暮らせる生活環境をめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
公園のアダプトプログラムが 18 箇所で行われている。（現状値：平成 18 年度末現在 16 箇所）	○	公園のアダプトプログラムが 32 箇所で行われた。
散乱ごみの回収量が 900 キログラム以下になっている。（現状値：平成 18 年度 1,080 キログラム）	○	回収量は 660 キログラムとなった。
放置自転車の台数が減少している。（現状値：平成 18 年度 1,739 台）	○	放置自転車の台数は 853 台となった。

その他の達成状況等

- 公害防止のための啓発を行った。
- 散乱ごみの回収量が減ったことにより、生活環境の美化は図られた。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進捗の遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第3節環境との共生 2生活環境 (2) 防犯

使命

犯罪のおきる環境や状況に着目し、犯罪の誘発要因を除去し快適で安心して暮らせる環境を整え、地域に密着した地域安全活動を展開することにより、犯罪のないまちをめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
地域安心安全情報共有システムの登録者数が 1,000 人になっている。（現状値：平成 18 年度末現在 367 人）	○	平成 27 年 4 月 1 日現在、8,969 人が登録している。
防犯活動団体の数が 93 団体になっている。（現状値：平成 18 年度末現在 71 団体）	○	92 団体となっている。

その他の達成状況等

- 青色防犯パトロールを行うとともに、地域の防犯団体への活動援助を行うことで、地域に密着した防犯活動に努めている。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちよくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第3節環境との共生 2 生活環境 (3) 循環型社会の確立

使命

ごみの減量化を図り、資源化を推進することで天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される循環型社会の確立をめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
ごみの資源化率が 40 パーセント以上になっている。(現状値:平成 18 年度末現在 26 パーセント)	○	ごみの資源化率は 39.1 パーセントであり、目標に対し 0.9 パーセント低くなっているが、ほぼ目標を達成していると評価できる。
市民 1 人あたりのごみ排出量が 1 日あたり 770 グラム以下になっている。(現状値:平成 18 年度 1 日あたり 854 グラム)	○	市民 1 人あたりのごみ排出量は、1 日あたり 711 グラムとなった。
生ごみ処理容器等購入費助成制度による導入台数が延べ 3,200 台になっている。(現状値:平成 18 年度末現在 1,839 台)	○	生ごみ処理容器等購入費助成制度による導入台数が延べ 6,689 台となった。
自転車駐輪場の収容台数が 3,500 台になっている。(現状値:平成 18 年度末現在 3,155 台)	×	自転車駐輪場の収容台数は、3,106 台となった。

その他の達成状況等

- 市営駐輪場の自転車利用者の増加に伴い、バイク用スペースを減らし、自転車用スペースに変更することで、環境に優しい交通手段への促進を行った。
- 2014 年のごみ排出量は 20,188 t であり、2006 年（平成 18 年度）22,845t に比べ約 12 パーセントの減量化が図られた。
- 資源化率についても、26 パーセントから 39 パーセントと 13 パーセント増加しており、循環型社会会に向け貢献してきている。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第3節環境との共生 2 生活環境 (4) 公共下水道

使命

清潔で快適な生活環境の実現と河川・海などの水質保全に努めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
雨水調整池が 1 箇所増設されている。(現状値：平成 18 年度末現在 6 箇所)	○	平成 26 年 7 月に 1 箇所（新宿滞水池）が完成した。
老朽污水管の改良率が 30 パーセントになっている。(現状値：平成 18 年度末現在 9.6 パーセント)	×	老朽污水管の改良を計画的に進めるため、平成 23 年度に管路長寿命化計画を策定することしたが、現在も策定に向けた調査等を実施している段階である。平成 29 年度中に計画を策定する予定であり、改良工事はその後の着手となることから、目標は達成できていない。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第4節都市整備 1 都市機能 (1) 道路

使命

都市の安全や環境の向上に配慮しながら、歩行者にとって安全で快適な歩道や、車社会にも十分対応できる道路づくりを進めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
まちかどベンチが 10 箇所設置されている。	○	平成 25 年度に 23 箇所の設置が完了した。
市内 4 路線の無電柱化工事が完了している。（現状値：平成 18 年度末現在 1 路線）	×	2 路線 50 パーセント 市内 4 路線（逗子 33 号、逗子 55 号、なぎさ通り、小坪 154 号）のうち、逗子 33 号と逗子 55 号は完了している。なぎさ通りの無電柱化については、横須賀市と協議をしたが、調整がつかなかった。
市道の狭あい道路の割合が 65 パーセント以下になっている。（現状値：平成 18 年度末現在 66 パーセント）	×	平成 26 年度末に 65.6 パーセントとなった。

その他の達成状況等

- 平成 26 年度末現在 5 路線整備済み（4 車線舗装、1 歩道）

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第4節都市整備 1 都市機能 (2) 市街地整備

使命

適切な土地の利用を図り、恵まれた自然環境と調和した景観・快適で安全なまちなみを形成するとともに、公共施設・公共交通機関のバリアフリー化を推進します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
景観形成重点地区における景観計画が 3 地区（歴史的景観保全地区、逗子駅周辺地区、東逗子駅周辺地区）で策定されている。	○	景観形成重点地区における景観計画が 3 地区で策定された。（歴史的景観保全地区：22 年度策定、逗子駅周辺地区：23 年度策定、東逗子駅周辺地区：23 年度策定）
市内すべての鉄道駅がバリアフリー化されている。	○	平成 22 年度に全駅バリアフリー化が完了した。
市内 4 路線の無電柱化工事が完了している。（現状値：平成 18 年度末現在 1 路線）	×	2 路線が完了した。 市内 4 路線（逗子 33 号、逗子 55 号、なぎさ通り、小坪 154 号）のうち、逗子 33 号と逗子 55 号は完了している。なぎさ通りの無電柱化については、横須賀市と協議をしたが、調整がつかなかった。

その他の達成状況等

- 市の公共施設を新築等する際、市民や高齢者、障がい者等の代表より意見を聴取し施設のバリアフリー化を進める逗子市公共施設整備バリアフリー懇話会を開催した。
- 平成 25 年度にまちかどベンチの設置が完了した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第4節都市整備 1 都市機能 (3) 公営住宅

使命

健康で文化的な生活を営むことのできる住宅を提供し、生活の安定と社会福祉に寄与します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
再整備を行った市営住宅が 110 戸になっている。（現状値:平成 18 年度末現在 再整備を行った戸数 50 戸）	×	74 戸となった（池子・沼間南台住宅）。 桜山住宅の建替えが、当初は福社会館の敷地を取りこんでの計画であったが、中止されたため、延期となった。
市営住宅戸数のバリアフリー化率が 88 パーセントになっている。（現状値:平成 18 年度末現在 40 パーセント）	×	67 パーセントとなった。

その他の達成状況等

- 桜山住宅の建替えは予定より遅れているが、池子・沼間南台住宅の建替えが完了し、木造住宅の撤去が完了した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第4節都市整備 2 防災 (1) 消防・災害体制

使命

火災、災害による市民の生命や身体、財産への被害を最小限にする体制整備やまちの構造づくりに努めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
全国瞬時警報システム（J－ALERT）により市内全域に瞬時に周知ができる。	○	平成 20 年度に全国瞬時警報システム（J－ALERT）を整備し、平成 21 年 4 月から運用開始している。
防災行政無線の難聴地域が解消されている。	×	難聴地域の解消対策として、計画的に難聴地域への子局の増設を進めてきたが、すべての地域を完了するまでには至らなかった。
情報伝達の多ルート化が図られている。	○	防災行政無線のほか、テレホンサービス、地域安心安全情報共有システムによるメール・電話・ファクス配信サービス、湘南ビーチ FM による緊急放送、市ホームページ及び防災ブログ等、複数の情報伝達ツールを整備した。
緊急伝達システムが全消防分団 9 箇所に設置されている。（現状値：平成 18 年度末現在 5 箇所）	○	平成 23 年度に第 2 分団詰所へ緊急伝達システムが設置されたことで、全消防分団 9 箇所の整備が完了した。
老朽化した消防分団詰所の再整備が 1 箇所実施されている。	○	第 6 分団詰所の建て替えが完了した。
消防広域化の課題が解決している。	×	当初の期限である平成 24 年度末までの広域化は断念となり、その後、市町村の広域化に関する基本指針が一部改正され、期限が平成 30 年 4 月 1 日となったが、検討は行われていない。
耐震改修工事が 70 件実施されている。（現状値：平成 18 年度末現在 0 件）	○	耐震改修工事の件数が、目標値の 70 件に達した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第4節都市整備 2 防災 (2) 防災活動

使命

災害に強い安全な地域社会をつくり、市民自らが自分のことは自分で守れるまちをめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
まちづくりに関する市民意識調査における地震や風水害に対して、日頃から準備している人の割合が 70 パーセントになる。（現状値：平成 17 年度 58.1 パーセント）	○	平成 23 年度に実施した調査では 71.2 パーセントとなり、目標値を達成した。
災害時要援護者支援マニュアルに基づく支援体制が構築されている。	○	平成 19 年 8 月、逗子市災害時要援護者支援制度実施要綱を策定し、支援体制を構築した。
自主防災組織の加入率が 80 パーセント以上になっている。（現状値：平成 18 年度末現在 66.8 パーセント）	×	平成 27 年 4 月 1 日現在で 73.7 パーセントに達している。
災害ボランティアの受入拠点や協力体制が構築されている。	○	第一運動公園再整備工事の完了に伴い、同公園をあらためて受入拠点として位置付け、逗子災害ボランティアネットワークとの連携により、協力体制を構築した。

その他の達成状況等

- 平成 25 年度及び平成 26 年度に実施した総合防災訓練は、避難所運営訓練と合同で開催し、発災から避難所設営までの一連の訓練を実践的に行い、訓練参加者 1,400 人に達した。
- 各地域においては、自主防災組織の加入率は 73.7 パーセントとなり、25 年度から 26 年度にかけて自主防災組織 6 団体が新たに立ち上がった。
- 学習体験施設スマイルを災害ボランティア受入拠点として位置付け、逗子災害ボランティアネットワークとの連携により、協力体制を構築した。
- 平成 23 年度に実施したまちづくりに関する市民意識調査の結果から、市民一人ひとりの災害に備える意識は高くなった。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第5節 自立社会 1 地域産業 (1) 商工サービス産業

使命

観光資源の活用を図り、また、市民の日常生活を支える身近な商工業を活性化します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市内全域で利用できるポイントカード（しおかぜカード）のポイント発行数が、年 1,700 万ポイント以上になっている。（現状値:平成 18 年度 1,400 万ポイント）	×	発行ポイント数は 1,262 万ポイントであった。新規取扱い店舗は生じているものの、廃業等により取扱い店舗が減少したため。また、ポイントカードに加入していない大型店に利用客が流れていることによる。
海水浴場浴客数が 500,000 人以上になっている。（現状値:平成 18 年度末現在 305,000 人）	×	平成 26 年度の海水浴場浴客数は、201,300 人 風紀・治安の悪化や、その後平成 26 年度においては、悪天候及び条例の影響によるもの。

その他の達成状況等

- 商店街の活性化のためのイベント開催の支援を行った。
- 逗子市商工会への支援を行った。
- 池田通りの無電柱化整備に対する支援を行った。
- 県へ養浜の要請を行った。
- 海水浴客との協力による美化活動を推進した。
- 観光パンフレット及びホームページの充実を図った。
- 逗子市観光協会事務局体制の拡充・支援に努めた。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第5節 自立社会 1 地域産業 (2) 農林水産業

使命

地場産業として漁業振興を支援し、農林水産業への親しみと理解を深めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
漁獲量が年 140 トン以上になる。(現状値: 平成 18 年 132.1 トン)	×	平成 26 年度の漁獲量は 100.9 トンとなった。 海流や水質の変化等、海洋環境の変化に伴い漁獲量が減少したもの。
緑地のアダプトプログラムが 15 箇所で開催されている。(現状値:平成 18 年度末現在 10 箇所)	○	緑地のアダプトプログラムが 25 箇所で開催された。

その他の達成状況等

- 漁業組合が行うサザエ・アワビなどの稚貝放流に対して補助金を交付し、水産業の活性化が図られた。
- 漁業組合が主催する「小坪わかめ収穫祭」を後援し、地元漁獲物の P R に努めるとともに、市民と生産者との交流を推進した。
- 漁港施設の基盤整備の推進のため、小坪漁港機能保全計画を策定した。
- 里山活用事業は自然保全活動を年 10 回以上実施した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第5節 自立社会 2 市民自治 (1) 自治政策

使命

市民と行政とが連携・協働し、地域の自治能力の向上を促進するとともに、逗子市の市民自治を実現させます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
まちづくりトークの参加者が年 1,000 人以上になっている。	×	最終年度では、8 回開催で 288 人となった。各回のテーマによる目的は達成されている。
2007 年度（平成 19 年度）策定の逗子市行財政改革基本方針の目標が達成されている。	○	概ね達成または平成 27 年度以降も継続していく事業もある。P F I 手法については中止とした。
施設予約システムの一元化が達成されている。	×	学校開放事業について予定通り実施（利用時間 8,391 時間、利用者延 62,425 人）したが、効率的な管理と利便性の向上は従来の社会教育課の事業だけではなく、ふれあいスクール等の他の事業も含めて再検討することとなり、方針変更となった。 一元化に向けて利用者団体等との調整等が十分ではなかったため、達成できていない。

その他の達成状況等

- まちづくり基本計画推進会議を設置し、毎年度 2～3 回、必要な会議を開催した。
- 市民参加条例の適切な運用を図るため、市民参加制度審査会を毎年度開催して審議等行うとともに、実施状況について公開した。
- ガバナンスの確立を目指し、小学校区を単位とする住民自治の仕組みの制度化を図った。同時に、総合計画等市の行政計画の策定・進行管理に、市民が関わることを前提にした新総合計画を策定した。
- 平成 23 年度から 26 年度までを期間とする行財政改革基本方針を策定し、指定管理者制度による施設運営の実現など、行財政改革を進めた。
- ずし平和デーを市民団体と共催で開催した。
- ピースメッセンジャーの活動成果を、ずし平和デーで報告するとともに、市民交流センターに展示して市民への発信を行った。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第5節 自立社会 2 市民自治 (2) 市民交流

使命

市民間のきずなを深め、また地域の課題を自主的・相互扶助的に解決していくため市民活動・市民交流を促進するとともに、組織づくり・交流の場づくりを進めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
自治組織の組織率が 80 パーセント以上になっている。(現状値:平成 19 年 7 月 1 日現在 68.9 パーセント)	×	平成 26 年 7 月で 70.2 パーセントとなった。自治組織数は 5 団体増えたが、目標には至らなかった。
市民の活動拠点の配置計画が策定され、その具体化が図られている。	×	配置計画の策定には至っていないが、公共施設中長期配置構想に基づき定められた施設整備の方針を受けて、東西にコミュニティセンターを設置し、また、オープンスペースを備えた地域活動センターがオープンするなど、着実に拠点整備を進められた。

その他の達成状況等

- ふれあい活動の考え方の普及としてふれあいフォーラムの開催、ふれあい活動センター化に向けて準備を進めるなど、組織づくり・交流の場づくりが図られた。
- 市民交流センターで情報紙を発行するなど情報発信するとともに、指定管理者制度による運営に意向することで一層の充実を図った。
- 小学校区を単位とする住民自治の仕組みを制度化し、沼間小学校区で協議会が発足した。
- 市民活動を支援するため、活動者・参加者にポイントを配る市民活動・社会参加ポイントシステムを開始した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ C 進ちよくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第5節 自立社会 2 市民自治 (3) 平等参加・男女共同参画社会

使命

性別、国籍等によって差別されることなく人権が尊重され、自由で平等な社会参加が保障されている社会環境をめざすとともに、身体の不自由な人の参加を保障するため、公共交通機関や公共施設のバリアフリー化を推進します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
市民意識調査における男女平等と感じる市民の割合が 50 パーセント以上になっている。（現状値：平成 17 年度末現在 20 パーセント）	×	平成 26 年度に実施した市民意識・実態調査の結果は、22.2 パーセントとなった。
市内すべての鉄道駅がバリアフリー化されている。	○	平成 22 年度に全駅バリアフリー化が完了した。

その他の達成状況等

- 人権尊重の意識啓発を、講演会や市民まつり、人権教室などで実施した。
- 平成 25 年度まちかどベンチ完了済み。
- 無電柱化については、市内 4 路線のうち 2 路線完了済み。県道については、池田通りを施工中。
- 建替えの終了した沼間南台住宅、池子住宅については、ユニバーサルデザインを取り入れた。
- 市の公共施設を新築等する際、市民や高齢者、障がい者等の代表より意見を聴取し施設のバリアフリー化を進める逗子市公共施設整備バリアフリー懇話会を開催した。
- 平成 25 年度にまちかどベンチの設置が完了した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第5節 自立社会 2 市民自治 (4) 情報公開・個人情報保護

使命

「知る権利」を保障し、「行政の説明責任」を全うするため、情報公開を推進すると同時に、個人の尊厳に配慮し、個人情報保護を徹底します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
個人情報の漏洩による被害が発生していない。	×	職員を対象とした個人情報保護に関する研修を実施しているが、個人情報が漏洩した事故が発生した。

その他の達成状況等

- インターネットによる情報公開請求や、公開済み情報の窓口による閲覧など、積極的な情報公開に努めた。
- 庁内会議について、ホームページを活用し、会議の公開や会議概要の掲載をするよう指導に努めた。
- 個人情報保護に関し、職員に対し階層別に毎年度研修を実施した。
- 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の制定に伴い、逗子市個人情報保護条例の改正について検討を行った。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第5節 自立社会 2 市民自治 (5) 広報・広聴

使命

市民に市政情報を提供し、まちづくりに市民の声を反映させるため意識・意見などの把握に努めるとともに、広く逗子の魅力をPRします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
広報ずしを読んでいる人の割合が 90 パーセントになっている。（現状値:平成 17 年度末現在 87.2 パーセント）	○	広報ずしを読んでいる人の割合が 91.7 パーセントとなった。
市ホームページへのアクセス数が年 500,000 件になっている。（現状値:平成 18 年度 343,489 件）	○	市ホームページへのアクセス数が年 1,006,845 件となった。
まちづくりトークの参加者が年 1,000 人になっている。	×	最終年度では、8 回開催で 288 人だった。各回のテーマによる目的は達成されている。

その他の達成状況等

- 広報誌の編集及びホームページの管理に当たっては、市民に市政の課題を理解・共有してもらい、市民協働でまちづくりを進められるよう工夫した。具体的には、広報ずしの巻頭特集やホームページのトップバナー、Facebook を活用したことにより、読んでいる人の割合やアクセス数、いいね！の数などが向上している。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第6節基地対策 1 池子米軍家族住宅 (1) 友好親善

使命

市民と米軍家族の双方にとって良き隣人としての関係を築きあえるものにするため、交流を深めます。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
池子米軍家族との交流が毎年 550 件以上行われている。（現状値：平成 18 年度 512 件）	×	平成 26 年度においては、379 件となった。 * 共同使用開始（平成 26 年 11 月 30 日）以後、スポーツ交流はカウントしていない。

その他の達成状況等

- 池子住宅地区及び海軍補助施設に係る地域連絡協議会を期間中 4 回開催し、交流拡大に向けた意見交換を行った。
- 逗子日米協会へ補助金を交付した（平成 26 年度まで）
- 市民と池子米軍家族住宅居住者との親善交流が行われた。（H19 年～H26 年で計 3,498 件 目標件数には達していない）
- 運動施設の利用拡大については H26 年 11 月の共同使用開始により実現された。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第6節基地対策 1 池子米軍家族住宅 (2) 渉外

使命

生活文化や適用法令の違いなどによるトラブル、事故や犯罪の発生などに対する市民の不安を解消します。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
池子米軍家族住宅地区関係者による交通事故がなくなる。（現状値：平成 18 年度 25 件）	×	平成 26 年度は、14 件（物件 11 件、人身 3 件）発生した。

その他の達成状況等

- 池子住宅地区及び海軍補助施設に係る地域連絡協議会を期間中 4 回開催し、意見交換を行い、米軍に交通安全教育の徹底を働きかけた。
- 市民からの相談、要望、苦情にかかる調査、情報収集及び国、米軍との交渉についてはその都度対応した。
- 米軍池子住宅居住者による交通事故は一定件数発生した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- ☒ B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第6節 基地対策 2 返還促進運動 (1) 合意内容の実現推進

使命

池子米軍家族住宅建設事業に係る合意内容の実現をめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
病院用地として示された用地が他の公共用地として一部返還へ向けた進展をみせている。	○	池子の森自然公園用地として、返還を前提とした共同使用が実現した。
公民館用地として示された用地が他の公共用地として一部返還へ向けた進展をみせている。	○	池子の森自然公園用地として、返還を前提とした共同使用が実現した。

その他の達成状況等

- 病院用地及び公民館用地として示された土地については、平成 26 年 11 月 30 日に返還を前提とした共同使用が実現し、平成 27 年 2 月 1 日に池子の森自然公園が開園した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。

第6節 基地対策 2 返還促進運動 (2) 返還促進運動

使命

「池子住宅地区及び海軍補助施設」地区の最終的な全面返還をめざします。

目標達成状況

2014 年度（平成 26 年度）目標	達成状況	
逗葉地域医療センター等への進入路が一部返還されている。	×	約 40 h a の土地の共同使用の実現を優先した。今後、協議を進める。
400 メートルトラック（調整池）が一部返還されている。	×	池子の森自然公園用地として、返還を前提とした共同使用が実現した。

その他の達成状況等

- 逗子市池子接收地返還促進市民協議会を運営した。
- 池子住宅地区及び海軍補助施設の一部土地約 40 h a について、平成 26 年 11 月 30 日に返還を前提とした共同使用が実現し、平成 27 年 2 月 1 日に池子の森自然公園が開園した。

評価

- A 使命に向けたこの間の取組みは、達成できた。
- B 使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- C 進ちょくの遅れはあるものの、使命に向けたこの間の取組みは、概ね達成できた。
- ☒ D 使命に向けたこの間の取組みの達成状況は十分とはいえない。達成できなかった。